

取付説明書

このたびは当社製品をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。
本製品を取付け及び取扱う上で、いくつかの注意点がございます。

安全かつ快適にご使用になっていただくため、

取付け作業前に必ず本書を熟読し、部品を確認し理解した上で作業して下さい。

☆部品が間違っていたり取付け方法が分からない場合は、ご遠慮なく速やかにご連絡ください。

☆販売店様へのお願い……この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

取付け及び取扱いについて



危険

- エンジンは、エンジン運転時や停止直後は常に高温になります。エンジン付近の取付け作業やボルトの増し締め作業は、エンジンが十分冷めていることを確認の上、作業を行なってください。
- 素手での作業は怪我の原因となります。必ず革手袋等で保護し、十分注意をして作業を行なってください。
- 取付けが不完全ですと、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。取付けは確実に行ってください。さらに取付け後は、定期的に各ボルト類が緩んでいないか点検を行なって下さい。ボルト類が緩んだまま走行を続けると、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。また、製品本体や車体に対し損傷を与える原因にもなります。もし、ボルト類が緩んでいた場合は増し締めを行なって下さい。
- 本製品や取付部などにキレツ等が見つければ、すぐに使用を中止して下さい。



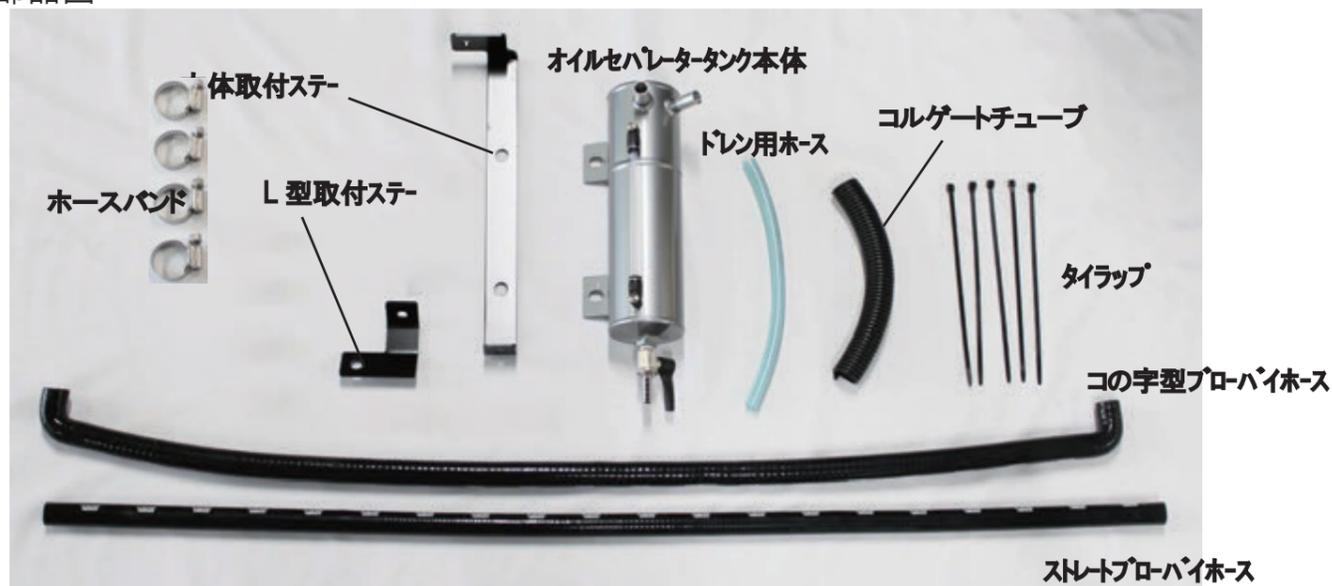
注意

- 海水や道路凍結防止剤等、金属を強く腐食させる成分が付着した場合は、早めに水洗いをするなどお手入れをして下さい。
- サビ等に関するクレームはお受けできませんのでご了承下さい。

本製品の構成部品について

● 取付説明書	×1	● タイラップ(SG-200W)	×5
● オイルセパレータータンク本体	×1	● M10×20アプセットボルト小型3点セムス(P=1.25)	×3
● 本体取付ステー	×1	● M10フランジナットセレード付(小型P=1.25)	×3
● L型取付ステー	×1	● M8×20六角ボルト(小型P=1.25)	×1
● ドレン用ホース	×1	● M8ナット(小型P=1.25)	×1
● No.2コの字型プロパイホース φ13	×1	● 8SW	×1
● No.1ストレートプロパイホース φ13	×1	● 8平W	×2
● ホースバンド 10 (締付トルク1N・m)	×4	● M6×15アプセットボルト3点セムス	×1
● コルゲートチューブ ECG-22N (20cm)	×1		

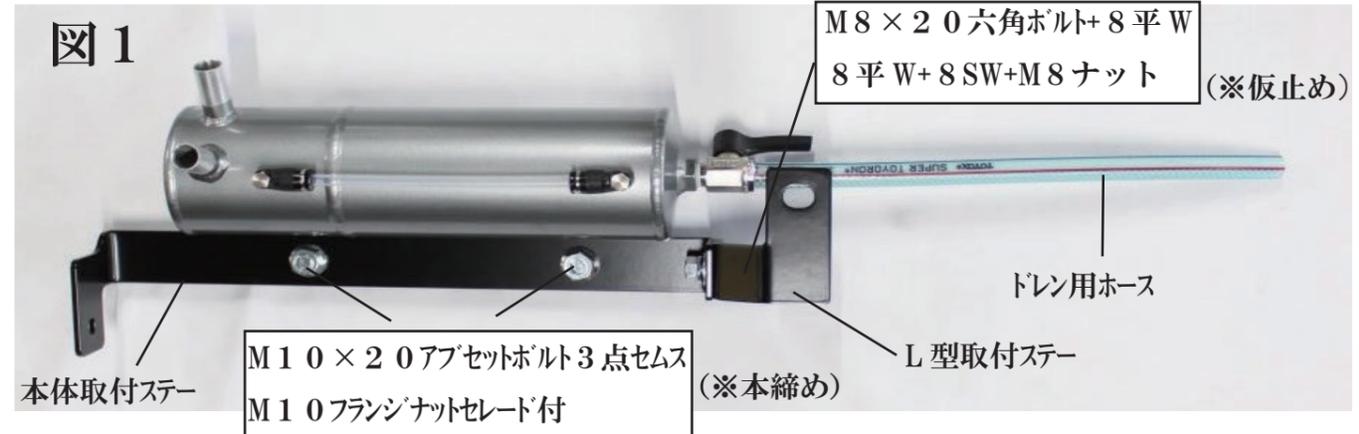
部品図



本製品の取付手順について

1 オイルセパレータータンク本体の組み立て

図1のようにL型取付ステーを本体取付ステーに仮止めし、本体取付ステー、ドレン用ホースをオイルセパレータータンク本体に取り付けてください。



2 純正エアクリーナーボックス取り外し

①のボルトと②のホースバンドを緩めてエアクリーナーボックスを取り外して下さい。



3 オイルセパレータータンク本体の取付

3-1 図3-1の①の穴に1で組み立てたオイルセパレータータンク本体のL型取付ステーが来るようにM10×20アプセットボルト、M10フランジナットで取り付けて下さい。

3-2 図3-1の②の穴にM6×15アプセットボルトで図3-2のように取付けて下さい。

3-3 1で仮止めしたM8×20六角ボルトを本締めして下さい。

図3-1

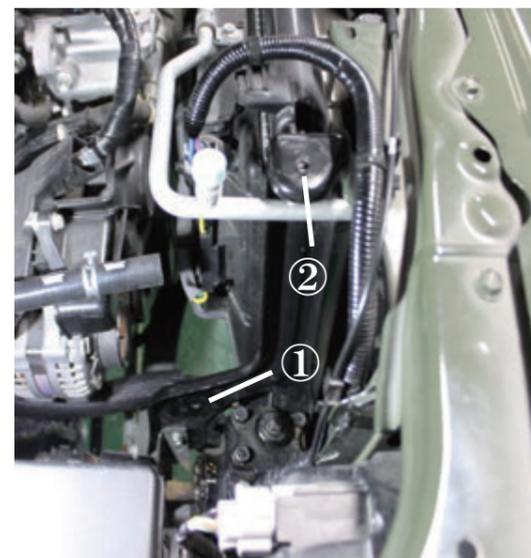
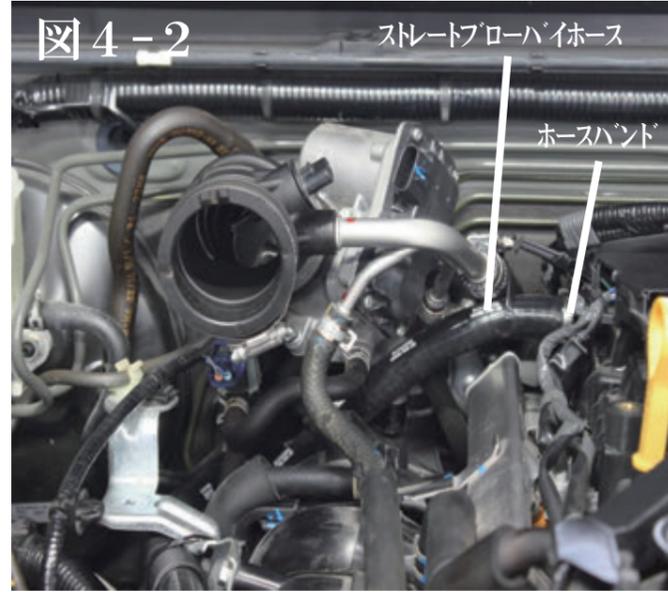
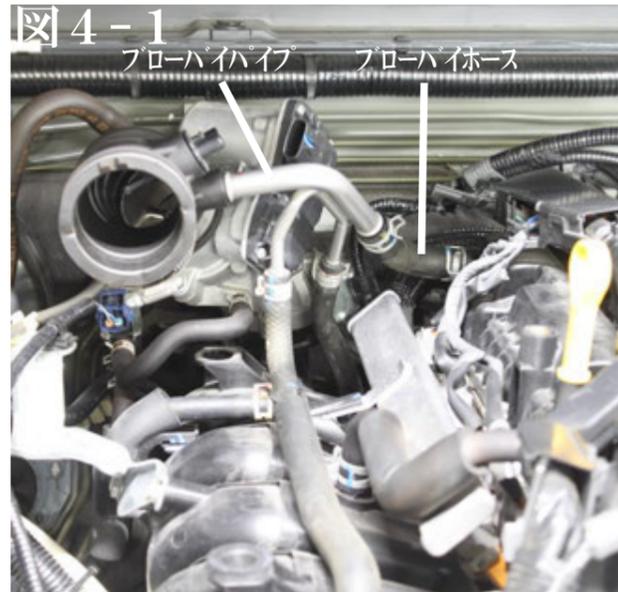


図3-2



4 ブローパイプの取付け

4-1 図4-1のブローパイプを外して図4-2のようにスロットルの下からストレートブローパイプを這わせて付属のホースバンドでエンジンヘッド側に繋いで下さい。



4-2 4-1で取り付けしたストレートブローパイプを図4-3のようにオイルセパレータータンクのIN側の口に合わせて適度な長さにカットし、ホースバンドでオイルセパレータータンクのIN側に繋げて下さい。

4-3 コの字型ブローパイプをオイルセパレータータンク本体のOUT側にホースバンドで取付けて下さい。図4-4のようにコの字型ブローパイプをスロットルの後ろ側を這わせながらブローパイプに長さを合わせて適度な長さにカットし、ホースバンドでブローパイプに繋げて下さい。

図4-3

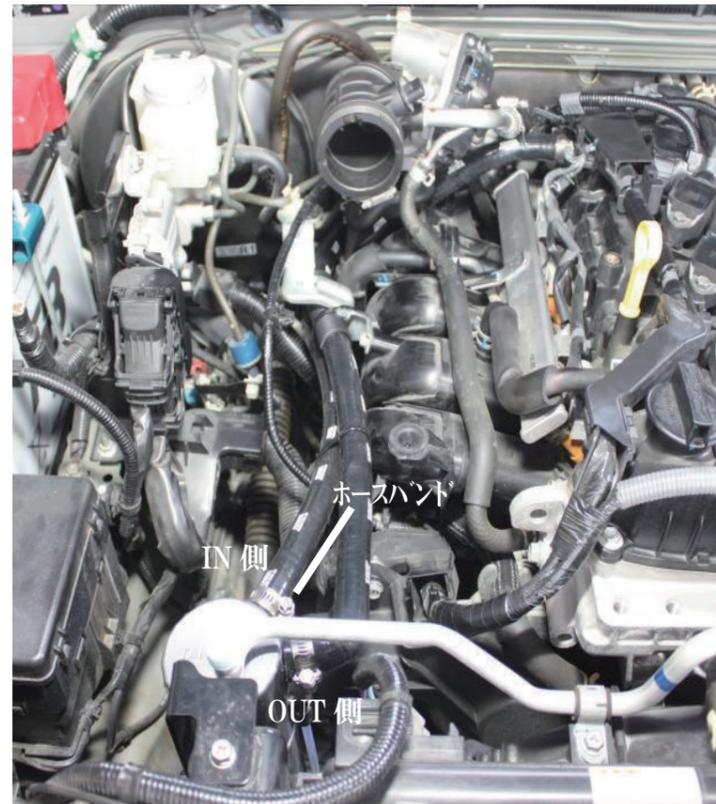
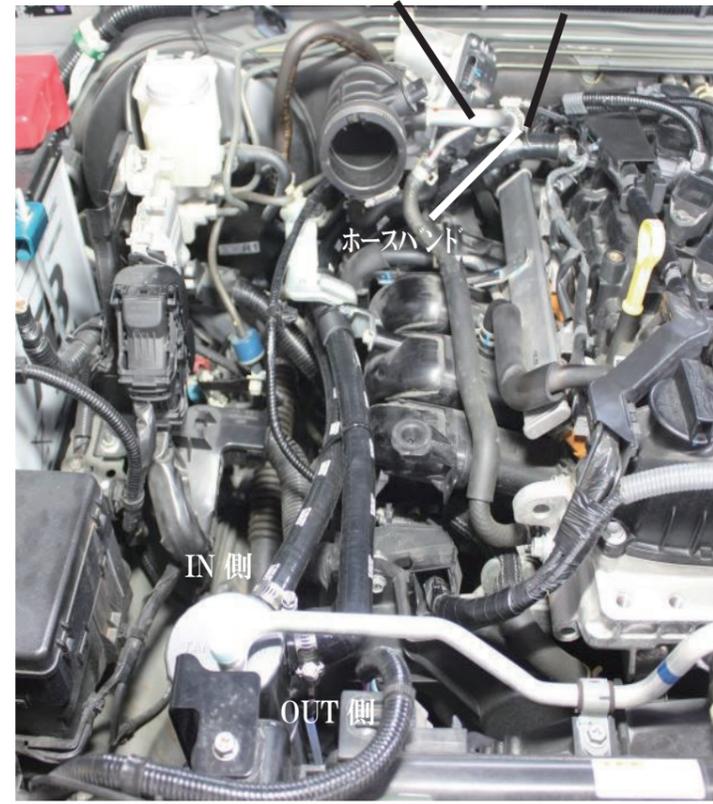
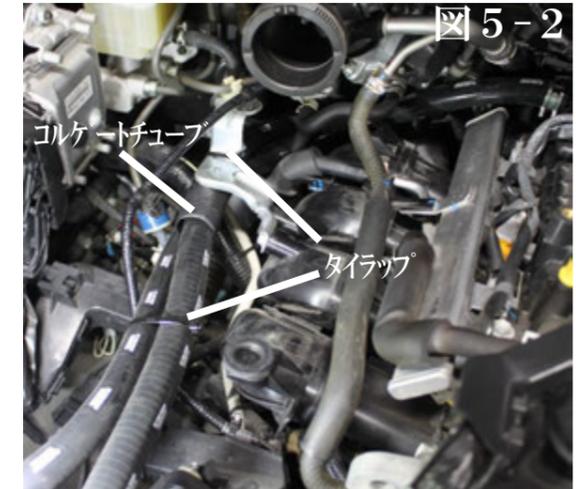


図4-4 ブローパイプ コの字型ブローパイプ



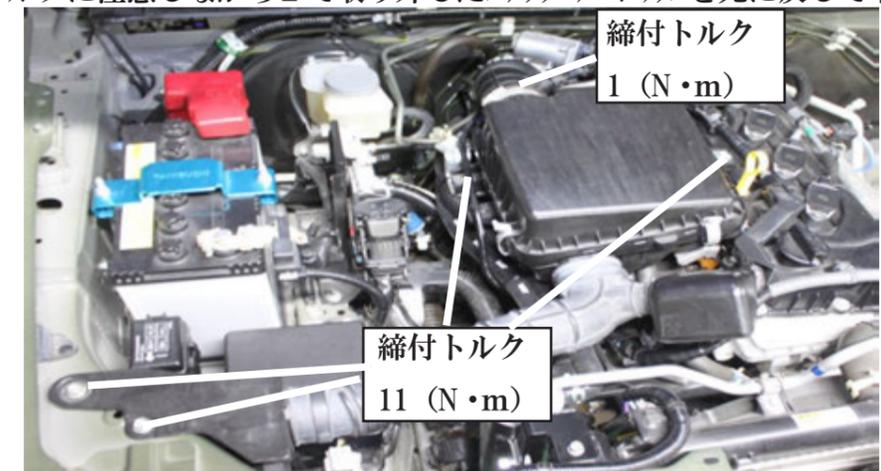
5 ホースや配管の保護

- 5-1 ブローパイプの下の細い管がスロットルに干渉する場合は、図5-1の矢印のように、手で少し角度を変えて下さい。曲げすぎるとエアクリーナーボックスに干渉するので、曲げすぎないように注意して下さい。(※折れないようにじわじわと曲げて下さい。)
- 5-2 ブローパイプに既存のホースクリップが当たる場合はホースクリップの向きを変えて下さい。鋭利な金属等に接触しそうな所(スロットル裏側や、エアクリーナーボックスのステー等)は、コルゲートチューブを適度な長さにカットして、ホースを保護して下さい。
- 5-3 図5-1と図5-2を参考にブローパイプやブローパイプをタイラップで固定して下さい。



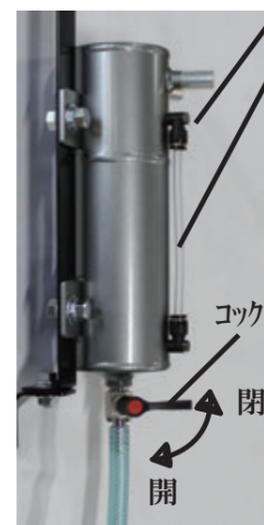
6 図6の締付トルクに注意しながら2で取り外したエアクリーナーボックスを元に戻して下さい。

図6



7 定期的に、オイルセパレータータンクのレベルゲージを確認して廃油が溜まっていれば、コックを開いて排出し、廃油を処理し、取付けの緩みやオイル漏れが無い確認して下さい。排出後は必ずコックを閉めて下さい。

図7



※レベルゲージホースの外し方
ユニバーサルエルボのリングを押しながらレベルゲージのホースを引っ張って抜いて下さい。
戻す時はホースを差し込むだけです。
汚れて見えづらくなったら、外して汚れを取って下さい。
汚れが取れなくなった場合は、新しいレベルゲージホースを購入して下さい。
ユニバーサルエルボの取付部は緩めないで下さい。